

漢詩「絶句・律詩のきまり」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

漢詩（近体詩）には、**句数・字数・押韻・対句**のきまりがあります。縦書きの詩（右から左へ一句ずつ）を読んで、ア～エから選びましょう。

詩型	一句の字数	句数
五言絶句	五字	四句
七言絶句	七字	四句
五言律詩	五字	八句
七言律詩	七字	八句

鉄則 - 句数で絶句（四句）／律詩（八句）、字数で五言（五字）／七言（七字）。 - 押韻…ふつう偶数句の末字で韻を踏む。七言は第一句末も踏むことが多い。 - 対句…律詩の頷聯（三・四句）と頸聯（五・六句）が原則。 - 句の名…絶句＝起句・承句・転句・結句／律詩＝首聯・頷聯・頸聯・尾聯。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

きまり Q1. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 四句から成る詩を絶句、八句から成る詩を律詩という

イ 四句から成る詩を律詩、八句から成る詩を絶句という

ウ 句の数では区別せず、字数だけで区別する

▶ 答え：ア 句数で分類：四句＝絶句、八句＝律詩。一句の字数で五言・七言に分かれる。

きまり Q2. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 一句が五字なら七言、七字なら五言という

イ 一句が五字なら五言、七字なら七言という

ウ 五言・七言は作者の名で決まる

▶ 答え：イ 一句の字数で五言（五字）・七言（七字）に分ける。句数（四句／八句）と組み合わせて詩型が決まる。

詩型 Q3. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

花 夜 処 春
落 来 処 眠
知 風 聞 不
多 雨 啼 覚
少 声 鳥 曉

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ア 一句が五字で四句。よって五言絶句。（孟浩然）

詩型 Q4. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

更上一層楼
欲窮千里目
黄河入海流
白日依山尽

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ア 一句が五字で四句。よって五言絶句。（王之涣）

詩型 Q5. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

唯見長江天際流
孤帆遠影碧空尽
煙花三月下揚州
故人西辭黃鶴樓

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 一句が七字で四句。よって七言絶句。（李白）

詩型 Q6. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

渭城朝雨浥輕塵
客舍青青柳色新
勸君更盡一杯酒
西出陽關無故人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 一句が七字で四句。よって七言絶句。（王維）

詩型 Q7. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ウ 一句が五字で八句。よって五言律詩。（杜甫）

詩型 Q8. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不盡長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：エ 一句が七字で八句。よって七言律詩。（杜甫）

きまり Q9. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 近体詩では、ふつう奇数句の末字で韻を踏む

イ 近体詩では韻を踏まない

ウ 近体詩では、ふつう偶数句の末字で韻を踏む

▶ 答え：ウ 近体詩（絶句・律詩）は偶数句末で押韻。七言では第一句末も韻を踏むことが多い。

きまり Q10. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 律詩では、ふつう第三・四句と第五・六句が対句になる

イ 律詩では、第一・二句だけが対句になる

ウ 律詩に対句の決まりはない

▶ 答え：ア 律詩は八句を二句ずつ首聯・頷聯・頸聯・尾聯と呼び、頷聯（三・四句）と頸聯（五・六句）を対句にするのが原則。

詩型 Q11. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独釣寒江雪
孤舟蓑笠翁
万径人踪滅
千山鳥飛絶

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：ア 一句が五字で四句。よって五言絶句。(柳宗元)

詩型 Q12. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

笑問客從何処來
兒童相見不相識
鄉音無改鬢毛衰
少小離家老大回

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：イ 一句が七字で四句。よって七言絶句。(賀知章)

詩型 Q13. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
兩岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 一句が七字で四句。よって七言絶句。（李白）

詩型 Q14. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

青山横北郭
白水遶东城
此地一為別
孤蓬万里征
浮雲遊子意
落日故人情
揮手自茲去
蕭蕭班馬鳴

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ウ 一句が五字で八句。よって五言律詩。（李白）

句の名称 Q15. 絶句の各句（第一～四句）の呼び名を選べ。

春眠不覺曉
処処聞啼鳥
夜來風雨聲
花落知多少

ア 首聯・頷聯・頸聯・尾聯

イ 起句・承句・轉句・結句

ウ 序・破・急

▶ 答え：イ 絶句の四句は順に起句・承句・轉句・結句と呼ぶ。(春曉・孟浩然)

句の名称 Q16. 律詩の二句ずつのまとまりの呼び名を選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 起句・承句・轉句・結句

イ 上句・中句・下句

ウ 首聯・頷聯・頸聯・尾聯

▶ 答え：ウ 律詩の八句は二句ずつ首聯・頷聯・頸聯・尾聯と呼ぶ。(春望・杜甫)

詩型 Q17. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

復照青苔上
返景入深林
但聞人語響
空山不見人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ア 五字×四句で五言絶句。（鹿柴・王維）

句の名称 Q18. 第七・八句のまとまりの呼び名を選べ。

蕭蕭班馬鳴
揮手自茲去
落日故人情
浮雲遊子意
孤蓬万里征
此地一為別
白水遶東城
青山橫北郭

ア 第七・八句＝尾聯

イ 第七・八句＝頷聯

ウ 第七・八句＝首聯

▶ 答え：ア 律詩の第七・八句は尾聯（詩を締めくくる）。（送友人・李白）

きまり Q19. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 対句は、同じ語をくり返すことである

イ 対句は、二つの句が文法・意味の上で対応して並ぶ技法である

ウ 対句は、句末の字をそろえることである

▶ 答え：イ 対句＝相対する二句が、品詞・組み立て・意味の上で対応して並ぶ表現。律詩の頷聯・頸聯で用いる。

句の名称 Q20. 第一句の呼び名として正しいものを選び。

独 釣 寒 江 雪
孤 舟 蓑 笠 翁
万 径 人 蹤 滅
千 山 鳥 飛 絶

ア 第一句＝結句

イ 第一句＝転句

ウ 第一句＝起句

▶ 答え：ウ 絶句の第一句は起句（詩を起こす）。(江雪・柳宗元)

押韻 Q21. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

花 落 知 多 少
夜 来 風 雨 声
処 処 聞 啼 鳥
春 眠 不 覚 晓

ア 晓・鳥・少

イ 眠・鳥・声

ウ 晓・声・少

▶ 答え：ア 春晓。偶数句末「鳥」「少」＋第一句末「晓」で韻を踏む（首句入韻）。韻は晓・鳥・少。

押韻 Q22. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

更上一層楼
欲窮千里目
黄河入海流
白日依山尽

ア 尽・流

イ 流・楼

ウ 山・楼

▶ 答え：イ 登鶴鵑楼。第二句末「流」・第四句末「楼」で押韻。五言は偶数句末が原則。

押韻 Q23. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪
孤舟蓑笠翁
万径人踪滅
千山鳥飛絕

ア 絶・滅

イ 翁・雪

ウ 滅・雪

▶ 答え：ウ 江雪。第二句末「滅」・第四句末「雪」で押韻。

押韻 Q24. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

故人西辞黄鹤楼
烟花三月下扬州
孤帆远影碧空尽
唯见长江天际流

ア 楼・州・流

イ 辞・州・流

ウ 楼・月・流

▶ 答え：ア 黄鹤楼送孟浩然之广陵。第一句末「楼」・第二句末「州」・第四句末「流」で押韻（七言の首句入韻）。

押韻 Q25. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥轻塵
客舍青青柳色新
勸君更盡一杯酒
西出陽關無故人

ア 塵・酒・人

イ 塵・新・人

ウ 城・新・人

▶ 答え：イ 送元二使安西。第一句末「塵」・第二句末「新」・第四句末「人」で押韻。

詩型 Q26. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

何日是帰年
今春看又過
山青花欲然
江碧鳥逾白

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：ア 五字×四句で五言絶句。(絶句・杜甫)

詩型 Q27. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

日照香炉生紫煙
遥看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是銀河落九天

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。(望廬山瀑布・李白)

詩型 Q28. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

蕭蕭班馬鳴
揮手自茲去
落日故人情
浮雲遊子意
孤蓬萬里征
此地一為別
白水遶東城
青山橫北郭

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：ウ 五字×八句で五言律詩。(送友人・李白)

詩型 Q29. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

夜半鐘声到客船
姑蘇城外寒山寺
江楓漁火对愁眠
月落烏啼霜滿天

ア 五言絶句 (五字×四句)

イ 七言絶句 (七字×四句)

ウ 五言律詩 (五字×八句)

エ 七言律詩 (七字×八句)

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。(楓橋夜泊・張繼)

詩型 Q30. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

葡萄美酒夜光杯
欲飲琵琶馬上催
醉臥沙場君莫笑
古來征戰幾人回

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（涼州詞・王翰）

押韻 Q31. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

朝辞白帝彩云间
千里江陵一日还
两岸猿声啼不住
轻舟已过万重山

ア 間・住・山

イ 帝・還・山

ウ 間・還・山

▶ 答え：ウ 早発白帝城。第一句末「間」・第二句末「還」・第四句末「山」で押韻。

押韻 Q32. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

少小離家老大回
鄉音無改鬢毛衰
兒童相見不相識
笑問客從何處來

ア 回・衰・来

イ 家・衰・来

ウ 回・識・来

▶ 答え：ア 回郷偶書。第一句末「回」・第二句末「衰」・第四句末「来」で押韻。

押韻 Q33. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙
遙看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是銀河落九天

ア 炉・川・天

イ 煙・川・天

ウ 煙・尺・天

▶ 答え：イ 望廬山瀑布。第一句末「煙」・第二句末「川」・第四句末「天」で押韻。

押韻 Q34. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

月落烏啼霜滿天
江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺
夜半鐘聲到客船

ア 天・寺・船

イ 啼・眠・船

ウ 天・眠・船

▶ 答え：ウ 楓橋夜泊。第一句末「天」・第二句末「眠」・第四句末「船」で押韻。

押韻 Q35. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 深・心・金・簪

イ 在・心・金・簪

ウ 深・淚・金・簪

▶ 答え：ア 春望（五言律詩）。偶数句末の深・心・金・簪で押韻。第一句末「在」は韻を踏まない。

詩型 Q36. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独在異郷為異客
每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高處
遍插茱萸少一人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（九月九日憶山東兄弟・王維）

詩型 Q37. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：エ 七字×八句で七言律詩。（登高・杜甫）

詩型

Q38. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独釣寒江雪
孤舟蓑笠翁
万径人踪滅
千山鳥飛絕

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ア 五字×四句で五言絶句。（江雪・柳宗元）

押韻

Q39. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

古来征战几人回
醉卧沙场君莫笑
欲饮琵琶马上催
葡萄美酒夜光杯

ア 杯・笑・回

イ 杯・催・回

ウ 光・催・回

▶ 答え：イ 涼州詞。第一句末「杯」・第二句末「催」・第四句末「回」で押韻。

押韻

Q40. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴
揮手自茲去
落日故人情
浮雲遊子意
孤蓬萬里征
此地一為別
白水遶東城
青山橫北郭

ア 郭・征・情・鳴

イ 城・別・情・鳴

ウ 城・征・情・鳴

▶ 答え：ウ 送友人（五言律詩）。偶数句末の城・征・情・鳴で押韻。

句の名称 Q41. 第一句の呼び名として正しいものを選べ。

更上一層樓
欲窮千里目
黃河入海流
白日依山盡

ア 第一句＝起句

イ 第一句＝転句

ウ 第一句＝結句

▶ 答え：ア 絶句の第一句は起句。（登鶴鵲樓）

句の名称 Q42. 第三句の呼び名として正しいものを選べ。

朝辞白帝彩云间
千里江陵一日还
两岸猿声啼不住
轻舟已过万重山

ア 第三句=起句

イ 第三句=転句

ウ 第三句=承句

▶ 答え：イ 絶句の第三句は転句（内容が転じる）。（早発白帝城）

きまり Q43. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 七言の詩は、絶対に第一句末で韻を踏まない

イ 七言の詩は奇数句末すべてで韻を踏む

ウ 七言の詩は、第一句末でも韻を踏むことが多い

▶ 答え：ウ 七言（絶句・律詩）は偶数句末に加え、第一句末でも押韻するのが普通（首句入韻）。

内容 Q44. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

春眠不觉晓
处处闻啼鸟
夜来风雨声
花落知多少

ア 春の朝のまどろみと、夜の雨で散った花への思い

イ 戦に明け暮れる兵士の嘆き

ウ 友を見送る別れのつらさ

▶ 答え：ア 春暁。春の眠りの心地よさと、ふと気づく落花への淡い愛惜。

内容 Q45. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

更上一層楼
欲窮千里目
黄河入海流
白日依山尽

ア 故郷を離れる悲しみ

イ より遠くを見ようと、さらに高い所へ登る向上心

ウ 酒に酔う楽しさ

▶ 答え：イ 登鶴鵲楼。「欲窮千里目、更上一層楼」=もっと遠くを見るため、もう一階上へ。向上の心。

詩型 Q46. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

西出陽關無故人
勸君更盡一杯酒
客舍青青柳色新
渭城朝雨浥輕塵

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。(送元二使安西・王維)

押韻 Q47. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

独在異郷為異客
每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高処
遍插茱萸少一人

ア 客・人

イ 親・処

ウ 親・人

▶ 答え：ウ 九月九日憶山東兄弟。第二句末「親」・第四句末「人」で押韻。第一句末「客」は韻を踏まない。

句の名称 Q48. 第三・四句のまとまりの呼び名を選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 第三・四句＝頷聯

イ 第三・四句＝首聯

ウ 第三・四句＝尾聯

▶ 答え：ア 律詩の第三・四句は頷聯。(春望) 対句になる。

詩型 Q49. 次の漢詩の形式(詩型)として正しいものを、後のア～エから選べ。

朝辞白帝彩云间
千里江陵一日还
两岸猿声啼不住
轻舟已过万重山

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（早発白帝城・李白）

句の名称 **Q50.** 第二句の呼び名として正しいものを選び。

少小離家老大回
鄉音無改鬢毛衰
兒童相見不相識
笑問客從何処來

ア 第二句＝転句

イ 第二句＝承句

ウ 第二句＝結句

▶ 答え：イ 絶句の第二句は承句（起句を承ける）。（回郷偶書・賀知章）

対句 **Q51.** 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 第一・二句と第七・八句

イ 第二・三句と第六・七句

ウ 第三・四句と第五・六句

▶ 答え：ウ 春望。頷聯（感時花濺淚／恨別鳥驚心）と頸聯（烽火連三月／家書抵萬金）が對句。

對句 Q52. 次の漢詩で對句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無邊落木蕭蕭下
不盡長江滾滾來
萬里悲秋常作客
百年多病獨登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 第三・四句と第五・六句

イ 第一・二句だけ

ウ 對句はない

▶ 答え：ア 登高（七言律詩）。頷聯（無邊落木…／不盡長江…）と頸聯（萬里悲秋…／百年多病…）が對句。全篇對句で名高い。

對句 Q53. 次の漢詩で對句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴
揮手自茲去
落日故人情
浮雲遊子意
孤蓬万里征
此地一為別
白水遶東城
青山橫北郭

ア 第七・八句だけ

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

▶ 答え：イ 送友人。頷聯（此地一為別／孤蓬万里征）・頸聯（浮雲遊子意／落日故人情）が対句。

対句 Q54. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

更上一層樓
欲窮千里目
黄河入海流
白日依山尽

ア 第二・三句

イ 対句はない

ウ 第一・二句と第三・四句

▶ 答え：ウ 登鶴鵲樓。白日依山尽／黄河入海流、欲窮千里目／更上一層樓。全句が対句になる名作。

対句 Q55. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪
孤舟蓑笠翁
万径人踪滅
千山鳥飛絶

ア 第一・二句

イ 第三・四句

ウ 対句はない

▶ 答え：ア 江雪。千山鳥飛絶／万径人踪滅が対句（「千山」対「万径」など）。

内容 Q56. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

独釣寒江雪
孤舟蓑笠翁
万径人踪滅
千山鳥飛絶

ア 戦に勝った喜び

イ 雪の中、ただ一人釣り糸を垂れる孤高の境地

ウ 春の野で遊ぶ楽しさ

▶ 答え：イ 江雪。人影も鳥もない雪景色に、笠をかぶった老人がひとり釣りをする。俗を離れた孤高。

内容 Q57. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

故人西辞黃鶴樓
煙花三月下揚州
孤帆遠影碧空盡
唯見長江天際流

ア 敵と戦う決意

イ 酒宴の陽気さ

ウ 旧友を見送り、遠ざかる帆をいつまでも見つめる惜別

▶ 答え：ウ 黃鶴樓送孟浩然之廣陵。揚州へ去る友の舟が消えるまで見送る。深い別れの情。

内容 Q58. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥輕塵
客舍青青柳色新
勸君更盡一杯酒
西出陽關無故人

ア 旅立つ友に、もう一杯と勧める別れの情

イ 故郷へ帰る喜び

ウ 戦場の勇ましさ

▶ 答え：ア 送元二使安西。「西のかた陽關を出づれば故人無からん」＝この先は親しい人もいない。別れの酒。

内容 Q59. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

笑問客從何処來
兒童相見不相識
鄉音無改鬢毛衰
少小離家老大回

ア 若くして出世した喜び

イ 年老いて故郷に帰り、子どもに他所者と扱われる感慨

ウ 戦に敗れた無念

▶ 答え：イ 回郷偶書。故郷の言葉は変わらぬが髪は白い。子どもに「どちらから」と問われる。歳月の感慨。

内容 Q60. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

朝辞白帝彩雲間
千里江陵一日還
兩岸猿声啼不住
輕舟已過万重山

ア 山に登るつらさ

イ 雨に降られた旅の苦勞

ウ 長江を一気に下る舟の、軽やかで爽快な速さ

▶ 答え：ウ 早発白帝城。兩岸の猿声が鳴きやまぬうちに舟は万重の山を過ぎる。下りのスピード感。

内容 Q61. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙
遙看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是銀河落九天

ア 天から流れ落ちるかのような廬山の滝の雄大さ

イ 静かな夜の寂しさ

ウ 友との別れ

▶ 答え：ア 望廬山瀑布。「飛流直下三千尺、疑ふらくは是れ銀河の九天より落つるか」と。滝の壮大な誇張表現。

内容 Q62. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

月落烏啼霜滿天
江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺
夜半鐘聲到客船

ア 都の華やかな宴

イ 旅の夜のものの寂しさと、響いてくる寒山寺の鐘

ウ 戦勝の凱旋

▶ 答え：イ 楓橋夜泊。月落ち烏鳴く霜の夜、舟で眠れぬ旅人に夜半の鐘が届く。旅愁。

内容 Q63. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

独在異郷為異客
每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高処
遍插茱萸少一人

ア 戦に出る覚悟

イ 春の行楽の喜び

ウ 重陽の節句に、故郷の兄弟を一人離れて思う心

▶ 答え：ウ 九月九日憶山東兄弟。「独り異郷に在りて異客と為る」。節句に肉親を思う望郷の情。

内容 Q64. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

葡萄美酒夜光杯
欲飲琵琶馬上催
醉臥沙場君莫笑
古來征戰幾人回

ア 辺境の宴の華やぎと、戦の無常をないまぜにした思い

イ 故郷の春ののどかさ

ウ 出世への意欲

▶ 答え：ア 涼州詞。「酔ひて沙場に臥す君笑ふこと莫かれ、古來征戰幾人が回る」。戦地の刹那と無常。

押韻 Q65. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

何日是帰年
今春看又過
山青花欲然
江碧鳥逾白

ア 白・年

イ 然・年

ウ 然・過

▶ 答え：イ 絶句（杜甫）。第二句末「然」・第四句末「年」で押韻。

押韻 Q66. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

復照青苔上
返景入深林
但聞人語響
空山不見人

ア 人・響

イ 林・上

ウ 響・上

▶ 答え：ウ 鹿柴。第二句末「響」・第四句末「上」で押韻。

押韻 Q67. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 哀・回・来・台・杯

イ 哀・下・来・台・杯

ウ 哀・回・客・台・杯

▶ 答え：ア 登高（七言律詩）。第一句末「哀」＋偶数句末の回・来・台・杯で押韻。

対句 Q68. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

江碧鳥逾白
山青花欲然
今春看又過
何日是歸年

ア 第三・四句

イ 第一・二句

ウ 対句はない

▶ 答え：イ 絶句（杜甫）。江碧鳥逾白／山青花欲然が対句（色の対比が鮮やか）。

詩型 Q69. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

笑問客從何処來
兒童相見不相識
鄉音無改鬢毛衰
少小離家老大回

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（回郷偶書・賀知章）

詩型 Q70. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

渾欲不勝簪
白頭搔更短
家書抵万金
烽火連三月
恨別鳥驚心
感時花濺淚
城春草木深
国破山河在

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ウ 五字×八句で五言律詩。（春望・杜甫）

句の名称 Q71. 第四句の呼び名として正しいものを選べ。

故人西辞黄鹤楼
烟花三月下扬州
孤帆远影碧空尽
唯见长江天际流

ア 第四句＝起句

イ 第四句＝承句

ウ 第四句＝結句

▶ 答え：ウ 絶句の第四句は結句（詩を締めくくる）。（黄鹤楼送孟浩然之广陵）

句の名称 Q72. 第五・六句のまとまりの呼び名を選べ。

風急天高猿啸哀
渚清沙白鸟飞回
无边落木萧萧下
不尽长江滚滚来
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艰难苦恨繁霜鬓
潦倒新停浊酒杯

ア 第五・六句＝頸聯

イ 第五・六句＝頷聯

ウ 第五・六句＝首聯

▶ 答え：ア 律詩の第五・六句は頸聯。（登高）対句になる。

内容 Q73. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

復照青苔上
返景入深林
但聞人語響
空山不見人

ア 都の喧噪

イ 人気のない山に夕日が射す、静かで奥深い情景

ウ 海の荒々しさ

▶ 答え：イ 鹿柴。人の姿は見えず声だけが響き、夕日が苔を照らす。王維の静寂・幽玄の世界。

内容 Q74. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

何日是帰年
今春看又過
山青花欲然
江碧鳥逾白

ア 戦の悲惨さ

イ 出世の喜び

ウ 美しい春景色の中でわく望郷の念

▶ 答え：ウ 絶句（杜甫）。鮮やかな江山の春。「今春看す又過ぐ、何れの日か是れ帰年ならん」＝今年も春が過ぎる、いつ帰れるのか。

詩型 Q75. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

故人西辞黄鹤楼
烟花三月下扬州
孤帆远影碧空尽
唯见长江天际流

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（黄鹤楼送孟浩然之广陵・李白）

押韻 Q76. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

青山横北郭
白水遶东城
此地一为别
孤蓬万里征
浮雲遊子意
落日故人情
揮手自兹去
蕭蕭班馬鳴

ア 城・征・情・鳴

イ 城・別・情・鳴

ウ 郭・征・意・鳴

▶ 答え：ア 送友人（五言律詩）。偶数句末の城・征・情・鳴で押韻。

対句 Q77. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

渾欲不勝簪
白頭搔更短
家書抵萬金
烽火連三月
恨別鳥驚心
感時花濺淚
城春草木深
國破山河在

ア 第一・二句のみ

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

▶ 答え：イ 春望。頷聯（三・四句）と頸聯（五・六句）が対句。

句の名称 Q78. 第二句の呼び名として正しいものを選べ。

何日是歸年
今春看又過
山青花欲然
江碧鳥逾白

ア 第二句＝転句

イ 第二句＝結句

ウ 第二句＝承句

▶ 答え：ウ 絶句の第二句は承句（起句を承ける）。（絶句・杜甫）

詩型 Q79. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

更上一層楼
欲窮千里目
黄河入海流
白日依山尽

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ア 五字×四句で五言絶句。（登鶴鵲楼・王之涣）

内容 Q80. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

渾欲不勝簪
白頭搔更短
家書抵万金
烽火連三月
恨別鳥驚心
感時花濺淚
城春草木深
国破山河在

ア 戦乱の世を憂い、離ればなれの家族を思う嘆き

イ 春の行楽の楽しさ

ウ 出世した誇り

▶ 答え：ア 春望。「国破れて山河在り」。戦乱で荒れた都に春が来る悲しみ、家族の手紙を待つ思い。

詩型 Q81. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：エ 七字×八句で七言律詩。（登高・杜甫。全篇対句で知られる）

押韻 Q82. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 在・深・金・簪

イ 深・心・金・簪

ウ 深・心・短・簪

▶ 答え：イ 春望。偶数句末（第二・四・六・八句）の深・心・金・簪が韻字。

対句 Q83. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 第七・八句のみ

イ 対句はない

ウ 第三・四句と第五・六句

▶ 答え：ウ 登高。頷聯（無辺落木蕭蕭下／不尽長江滾滾來）・頸聯（万里悲秋常作客／百年多病独登台）が対句。

内容 Q84. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 秋の高台で、老いと孤独・人生の苦渋を詠む

イ 若き日の旅の喜び

ウ 戦に勝った高揚

▶ 答え：ア 登高。「万里悲秋常に客と作り、百年多病独り台に登る」。晩年の杜甫の悲愁。

句の名称 Q85. 第七・八句のまとまりの呼び名を選べ。

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

ア 第七・八句＝頸聯

イ 第七・八句＝尾聯

ウ 第七・八句＝首聯

▶ 答え：イ 律詩の第七・八句は尾聯（締めくくり）。（春望）

押韻 Q86. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

朝辭白帝彩雲間
千里江陵一日還
兩岸猿聲啼不住
輕舟已過萬重山

ア 雲・還・山

イ 間・陵・山

ウ 間・還・山

▶ 答え：ウ 早発白帝城。第一・二・四句末の間・還・山が韻字。

きまり Q87. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 絶句の構成を「起・承・転・結」、律詩の四聯を首・頷・頸・尾という

イ 絶句を「序・破・急」、律詩を「起・承・転・結」という

ウ 絶句・律詩とも「首・頷・頸・尾」という

▶ 答え：ア 絶句＝起句・承句・転句・結句。律詩＝首聯・頷聯・頸聯・尾聯。混同しないこと。

内容 Q88. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

渭城朝雨浥輕塵
客舍青青柳色新
勸君更盡一杯酒
西出陽關無故人

ア 戦地へ向かう勇氣

イ 旅立つ友に別れの一杯を勧め、行く先の孤独を思いやる

ウ 故郷の春をなつかしむ

▶ 答え：イ 送元二使安西。陽關を出れば親しい人もいない、もう一杯飲もう、という惜別。

対句 Q89. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

風急天高猿嘯哀
渚清沙白鳥飛回
無辺落木蕭蕭下
不尽長江滾滾來
万里悲秋常作客
百年多病独登台
艱難苦恨繁霜鬢
潦倒新停濁酒杯

ア 第一・二句は対句でない

イ 律詩に対句はない

ウ 第一・二句も対句になっている

▶ 答え：ウ 登高は首聯（風急天高猿嘯哀／渚清沙白鳥飛回）も対句で、全篇対句として名高い。

押韻 Q90. 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

故人西辞黄鶴楼
烟花三月下揚州
孤帆遠影碧空尽
唯見長江天際流

ア 楼・州・流

イ 楼・尽・流

ウ 辞・州・際

▶ 答え：ア 黄鶴楼送孟浩然之広陵。第一・二・四句末の楼・州・流が韻字。

詩型 Q91. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

青山横北郭
白水遶東城
此地一為別
孤蓬万里征
浮雲遊子意
落日故人情
揮手自茲去
蕭蕭班馬鳴

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：ウ 五字×八句で五言律詩。（送友人・李白）

句の名称 **Q92.** 次の漢詩について、後の問いにア～ウで答えよ。

朝辞白帝彩云间
千里江陵一日还
两岸猿声啼不住
轻舟已过万重山

ア 第三句＝起句で詩を起こす

イ 第三句＝転句で、場面や視点が転じる

ウ 第三句＝結句で締める

▶ 答え：イ 絶句の第三句（転句）は内容を転じる要。早発白帝城では「两岸猿声…」と視点が舟と岸へ転じる。

内容 **Q93.** 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

青山横北郭
白水遶东城
此地一为别
孤蓬万里征
浮雲遊子意
落日故人情
揮手自兹去
萧萧班马鸣

ア 戦の決意

イ 都での出世

ウ 友との別れに、漂う雲と沈む日を重ねて惜しむ

▶ 答え：ウ 送友人。「浮雲遊子の意、落日故人情」＝旅ゆく友の心を浮雲に、別れを惜しむ情を落日に重ねる。

押韻 **Q94.** 次の漢詩で韻を踏んでいる字を、すべて正しく挙げたものを後のア～ウから選べ。

月落烏啼霜滿天
江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺
夜半鐘聲到客船

ア 天・眠・船

イ 天・火・船

ウ 啼・眠・到

▶ 答え：ア 楓橋夜泊。第一・二・四句末の天・眠・船が韻字。

詩型 Q95. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

独在異鄉為異客
每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高處
遍插茱萸少一人

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（九月九日憶山東兄弟・王維）

対句 Q96. 次の漢詩で対句になっている句の組み合わせを、後のア～ウから選べ。

蕭蕭班馬鳴
揮手自茲去
落日故人情
浮雲遊子意
孤蓬万里征
此地一為別
白水遶東城
青山橫北郭

ア 第一・二句と第七・八句

イ 第三・四句と第五・六句

ウ 対句はない

▶ 答え：イ 送友人。頷聯・頸聯が対句。首聯（青山橫北郭／白水遶東城）も対句的。

内容 Q97. 次の漢詩の主題・内容として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

日照香炉生紫煙
遥看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是銀河落九天

ア 夜の静けさ

イ 別れの悲しみ

ウ 滝を銀河が天から落ちるさまにたとえた雄大な誇張

▶ 答え：ウ 望廬山瀑布。「疑ふらくは是れ銀河の九天より落つるか」と。スケールの大きな比喩。

句の名称 Q98. 次の漢詩について、後の問いにア～ウで答えよ。

独在異郷為異客
每逢佳節倍思親
遙知兄弟登高処
遍插茱萸少一人

ア 第一句＝起句、第四句＝結句

イ 第一句＝結句、第四句＝起句

ウ 聯で数える

▶ 答え：ア 絶句は起・承・転・結。九月九日憶山東兄弟も第一句が起句、第四句が結句。

詩型 Q99. 次の漢詩の形式（詩型）として正しいものを、後のア～エから選べ。

日照香炉生紫煙
遙看瀑布挂前川
飛流直下三千尺
疑是銀河落九天

ア 五言絶句（五字×四句）

イ 七言絶句（七字×四句）

ウ 五言律詩（五字×八句）

エ 七言律詩（七字×八句）

▶ 答え：イ 七字×四句で七言絶句。（望廬山瀑布・李白）

きまり Q100. 漢詩のきまりについて、正しいものを後のア～ウ（エ）から選べ。

ア 近体詩には字数や句数のきまりがない

イ 押韻・対句・句数のきまりを持つ唐代以降の詩を近体詩という

ウ 絶句は八句、律詩は四句である

▶ 答え：イ 唐代に整った、句数・押韻・対句などの規則を持つ詩が近体詩（絶句・律詩）。規則のゆるやかな詩は古体詩。
